

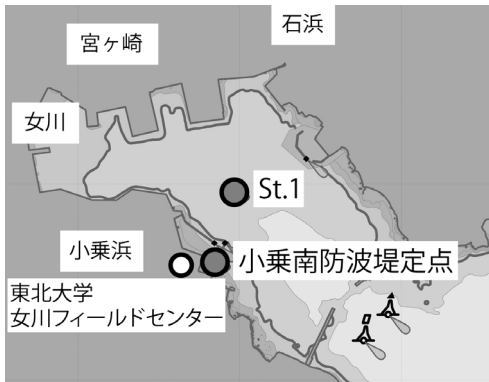
週刊 女川湾海況速報 (No.29)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

2 月 4 日から 8 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して水温は全層で下降。経時的には 5 日に全層で、8 日に表層（0m）で上昇。塩分に関しては、全層で先週と同程度の値。経時的には全層で 7 日に下降した後、8 日には 33.7 パーミルまで上昇。これらの水温の上昇と塩分の下降は、それぞれ外洋水と降水の影響と推定。

水深 [m]	2月4日 (月)	2月5日 (火)	2月6日 (水)	2月7日 (木)	2月8日 (金)
0	7.5 (33.7)	7.6 (33.6)	7.4 (33.3)	7.2 (33.2)	7.4 (33.7)
6	7.6 (33.7)	7.7 (33.7)	7.6 (33.7)	7.5 (33.4)	7.5 (33.7)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル（千分率）。1 パーミル = 1PSU（実用塩分単位）。

②濁度：先週と比較して全層で下降。経時的には表層でほぼ一定の 0.6~0.7FTU を維持し、底層（6m）では 0.9FTU から 0.7FTU へ徐々に下降。（単位は FTU）

水深 [m]	2月4日 (月)	2月5日 (火)	2月6日 (水)	2月7日 (木)	2月8日 (金)
0	0.6	0.6	0.6	0.7	0.6
6	0.9	0.8	0.8	0.8	0.7

③溶存酸素：先週と比較して上昇し、9~10mg/l 台を示す。経時的には 5 日と 8 日に全層で 0.2~0.4mg/l 上昇し、7 日には表層で 0.1mg/l の下降。

水深 [m]	2月4日 (月)	2月5日 (火)	2月6日 (水)	2月7日 (木)	2月8日 (金)
0	10.0	10.4	10.0	9.9	10.3
6	10.0	10.2	10.0	10.1	10.3

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 7.3~7.6℃、33.6~33.7 パーミルの範囲にあり、鉛直的には水深とともに上昇。5m 以深の 33.7 パーミルの高塩分水は外洋水と推定。濁度は 0.8~1.1FTU の範囲にあり、底層（20m）で最大。溶存酸素は 9.7~10.3mg/l の範囲にあり、底層で最小。

2月7日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	7.3	33.6	0.8	10.3
5	7.4	33.7	0.8	10.3
10	7.5	33.7	0.6	10.1
15	7.5	33.7	0.8	9.9
20	7.6	33.7	1.1	9.7

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。